システム構築のための調整力向上講座（第19回）

# 部下を動かし成長させる影響力を養おう

2017.04.13

現場リーダーがメンバーをまとめるためにも調整力が必要です。具体的にはメンバーをやる気にさせ成長させるための影響力が求められます。メンバーあってのリーダー、リーダーあってのメンバーです。ワクワクする目的を設定し、時には衝突しつつメンバーの成長を促しましょう。

多くの企業では、プロジェクトリーダーは同時に上司でもあります。プロジェクトを進めながら、部下を育成しなければならない。そんな難しい立場にあるのが、現場リーダーの現実です。そのため現場リーダーには「部下を動かし、成長させる影響力」が求められます。

リーダーがメンバーに対して発揮するべき影響力は3つあります。1つ目は、「心を鼓舞すること」。
2つ目は、「ゴールを示して導くこと」。そして3つ目が「フィードバックを与えて成長させること」です。

プロジェクトでは多くの場合「やったことがないこと」に取り組むわけですから、困難の連続です。時には、心が折れそうになります。そんな中でも、リーダーは自分とメンバーを鼓舞しながらモチベーションを保ち、プロジェクトを前に進めなければなりません。

メンバーが安心して仕事に打ち込むには、先が見えていることが大切です。労働時間が長く負荷が高いことよりも、むしろ先が見えないことのほうがキツイのです。「今、プロジェクトの状態はどうなのか」「この先どうなるのか」「何をどれぐらい頑張ればいいのか」ーー。ゴールが見えていなければ、メンバーは力を発揮できません。

そして、リーダーとして最も重要な役割の1つが「メンバーを育てること」です。メンバーは勝手に育つものではありません。進むべき方向性を示し、フィードバックを与え、軌道修正しながら「育む」必要があるのです。

特にシステム開発プロジェクトのメンバーは、その多くがエンジニアで構成されています。エンジニアは仕事に対して直接的な報酬よりも、成長を求める傾向があります。メンバーは、リーダーと一緒に仕事をして成長できると思えるからこそ、プロジェクトに進んで取り組むようになります。

リーダーと部下では動機の源泉が違う… 続きを読む